

業務指標（PI）等を用いた計画策定について

1. 業務指標（PI）とは

平成17年1月に制定（平成28年6月改定）された水道事業ガイドライン（JWWAQ100）では、水道サービス（事業）を評価する業務指標（PI）が設定されています。

この指標は、算出方法や使用する数値が定められており、全国的な水道事業の現状分析と、事業体自らのおかれている位置の分析が可能です。また、水道事業は水源や人口規模・人口密度、施設配置等の事業背景により事業環境が異なり一概に比較ができないことを考慮して、平成28年6月の改定では背景指標（CI）が設定され、類似の事業体との比較ができるようになっています。

加えて、平成28年6月の改定では、厚生労働省による新水道ビジョンの策定、東日本大震災を受けた耐震対策の強化、水質基準などの水道関係法令の改正といった水道事業を取り巻く環境の変化や水道事業体の意見を反映し、業務指標（PI）の追加や変更などが行われました。

この改定により、業務指標（PI）は事業体の立ち位置の把握により活用しやすくなり、事業体の抱える課題の抽出や目指すべき位置を客観的、定量的かつ効果的に指し示すことができるようになりました。

2. 業務指標（PI）活用の効果

業務指標（PI）を活用することにより、以下の効果が期待されます。

- | |
|--|
| 1) 事業体の業務状況を 経年分析 できる |
| 2) 事業体間の業務状況を 比較分析 できる（全国値との比較、県内値との比較等） |
| 3) 背景指標（CI）を活用することで 事業体特性を分析 するとともに類似事業体間での比較分析ができる |
| 4) ビジョンや施設計画において 計画目標を客観的かつ定量的に設定 できる |

3. 東京設計事務所が提案する業務指標（PI）活用方法

☆ 「水道事業ビジョン」における現状分析・課題抽出及び目標設定

「新水道ビジョン」で示された、「安全」、「強靱」、「持続」の視点でそれぞれ水道事業体の現状を把握するための業務指標（PI）を算定し、類似団体や都道府県内事業体との比較を行うことで、水道事業体の立ち位置を把握します。

それにより得られた水道事業体の課題を解決するために水道事業体の将来の環境を踏まえ、実現可能な施策の提案や、施策の進捗状況や計画と実状の乖離を容易に判断できるよう、適切な業務指標（PI）による目標設定を行います。



☆ 「水道施設耐震化・更新計画」における進捗管理のための指標設定

水道施設耐震化・更新計画は長期に及ぶ計画であり、水道水の安定供給を維持するために進捗を適切に管理し続けることが求められます。

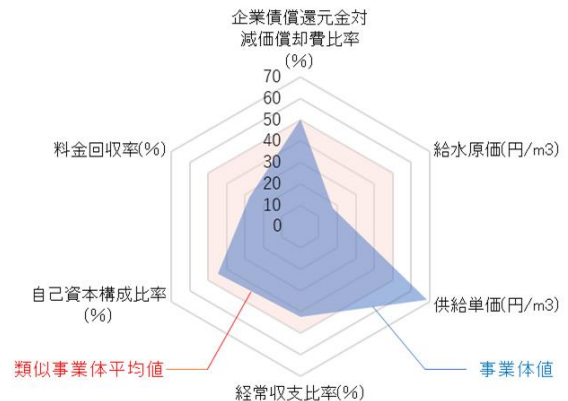
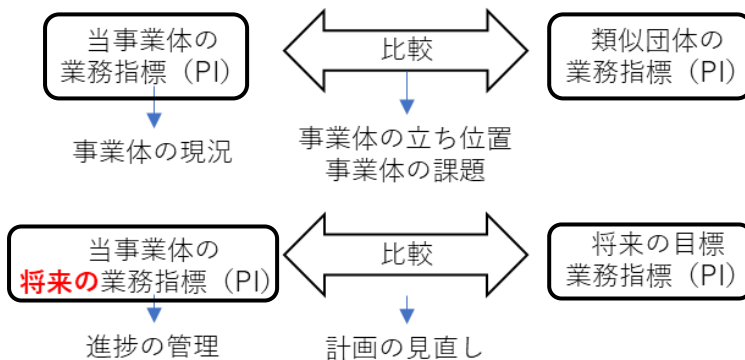
このため、管理が容易な業務指標（PI）を提案するとともに、10年、20年先においても進捗管理を継続し、計画と実状が乖離した際には計画の見直しを判断できるよう将来の目標値を適切に設定します。

☆ 「経営戦略」における投資目標・財源目標の設定

水道事業の経営基盤の強化、施設の適切な維持更新の維持のために経営の効率化や諸費用の低減等の投資の削減、適切な料金収入や企業債の借入等の財源の確保を行い、投資と財源のバランスが取れた事業運営を続けることが求められます。

このため、「経営戦略」において、目標を達成するための方針を明示し、経営の健全性の維持向上に寄与できるよう将来の投資目標、財源目標に適切な業務指標（PI）を設定します。

☆ 業務指標（PI）の活用のイメージ



主な業務実績

- ◆ 公益社団法人日本水道協会 水道事業ガイドライン改定支援業務（平成 28 年度）

<業務指標（PI）を活用した「耐震化計画」>

- ◆ 埼玉県幸手市 管路耐震等更新計画策定業務委託（平成 27 年度）

<業務指標（PI）を活用した「水道事業ビジョン」>

- ◆ 滋賀県彦根市 彦根市水道事業中期経営計画（平成 20 年以降 評価業務を継続的に受注）

<業務指標（PI）を活用した「経営戦略」>

- ◆ 埼玉県川越市 川越市上下水道事業経営戦略策定支援業務委託（令和元年度） 他多数

お問い合わせ・資料のご請求

株式会社 東京設計事務所 東京支社

・プランニンググループ 神保士朗 TEL 03-3580-2757 shiro_jimbo@tokyoengicon.co.jp